

商工
観光

空き店舗の利用、活性化

商工関係では、空き店舗の改装及び既存の店舗改装事業を930万円計上し、過疎化による商店街の空洞化を防ぐとともに、商工業の活性化を図ります。

- ・置戸町街路灯設置事業 80万円
- ・置戸町美しい商店街奨励事業 200万円
- ・置戸町未来の起業事業 730万円

観光関係では、町内唯一の温泉施設である「おけと勝山温泉ゆうゆ」が、平成29年4月にリニューアルオープンしました。おかげさまで、町民はもとより町外からも多くの方々に足を運んでもらえる施設となり、1月には入込客数が年間目標の6万人を超え、順調な滑り出しとなりました。今年度は、継続して指定管理委託料957万円、駐車場などの外灯LED化工事として140万円を計上し、施設の充実に努めます。



おけと勝山温泉ゆうゆ100周年記念感謝祭の餅まき

道路
橋梁

予防的修繕で安全なまちへ

土木関係では、橋梁の老朽化対策のため平成24年度に長寿命化修繕計画を策定



しました。こ **長寿命化修繕工事予定の学友橋**の計画に基づき学友橋などの予防的な修繕を行うために2億700万円を計上しました。

- ・橋梁長寿命化修繕事業 20,700万円
- ・道路灯LED化工事 207万円
- ・境野地区雨水対策事業 80万円
- ・町道置戸川南境野線道路舗装修繕工事 1,513万円

防災

Jアラートの機器更新

防災関係では、平成22年に導入した全国瞬時警報システム（Jアラート）を新型受信機に更新する経費として431万円を計上しました。気象災害や緊迫する北朝鮮情勢などに早急に対応し、町民の安全・安心の確保に努めます。

- ・全国瞬時警報システム更新事業 431万円

学校
教育

置戸高校への支援

学校教育関係では、置戸高校が少子化などの影響により受験者数の確保が厳しい状況にあることから、通学生に対する各種支援や福祉科のPR活動を継続して行うため1,600万円を計上しました。

- ・置戸高校への支援事業 1,600万円

社会
教育

境野公民館改築・OGF開催

公民館関係は、境野公民館が建設から39年を経過し、老朽化してきていることから、改築費用として2億5,500万円を計上しました。

- ・境野公民館改築工事 2億5,500万円
- ・境野公民館備品整備事業 700万円

本町は平成27年に開町100周年を迎え、記念行事として町内の若者たちが中心となって野外コンサート「OGF（オケト グリーン フェスティバル）」を開催しました。町内、町外からの反響が大きく、大変好評をいただいたことから、第2弾を7月1日に開催することになりました。町としては、実行委員会に対して1,350万円を助成し、本町の未来を担う若者の活動を支援します。

- ・OGF実行委員会取り組みへの支援 1,350万円

簡易
水道

簡易水道再編推進事業

簡易水道特別会計では、簡易水道再編推進事業が7年目を迎え、2億8,247万円を計上しました。

- ・配水管等移設工事 300万円
- ・簡易水道再編推進事業 2億8,247万円